

宮城県感染症発生動向調査情報(第22週)

宮城県【平成25年06月06日】発行

宮城県保健環境センター

TEL (022)257-7228

- 2013.5.27 ~ 6.2 ・ 第22週 -

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保健所										患者数	累計	宮城県(含む仙台市)			
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	仙台市	患者数	累計			第19週	第20週	第21週	第22週
水痘	29 5.80	19 1.90	10 2.00	5 2.50	8 2.67			42 1.62	113 1.95	1,729	○ →	◎ →	◎ →	◎		
流行性耳下腺炎	1 0.20	10 1.00		1 0.50	3 1.00	3 0.60	1 0.50	6 0.23	25 0.43	508	→	→	○ →	○		
百日咳											→	→	→			
感染性胃腸炎	35 7.00	82 8.20	17 3.40	20 10.00	18 6.00	25 5.00	17 8.50	243 9.35	457 7.88	9,627	◎ →	◎ →	◎ →	◎		
手足口病				3 1.50	4 1.33	4 0.80		2 0.08	13 0.22	204	→	→	→			
伝染性紅斑	12 2.40	1 0.10					13 6.50	10 0.38	36 0.62	237	→	→	→	○		
突発性発しん	2 0.40	9 0.90	8 1.60	1 0.50	4 1.33	2 0.40	1 0.50	15 0.58	42 0.72	758	○ →	○ →	○ →	○		
ヘルパンギーナ						1 0.20		1 0.04	2 0.03	42	→	→	→			
インフルエンザ	29 3.63	9 0.60	4 0.50			8 1.00	6 1.50	26 0.62	82 0.88	15,630	◎ →	◎ →	◎ →	◎		
咽頭結膜熱	5 1.00	3 0.30		9 4.50		1 0.20		17 0.65	35 0.60	382	→	→	→	○		
流行性角結膜炎	1 1.00	2 0.67				1 1.00		1 0.17	5 0.42	63	→	→	→			
急性出血性結膜炎								1 0.17	1 0.08	10	→	→	→			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	32 6.40	24 2.40	5 1.00	7 3.50	10 3.33	31 6.20		37 1.42	146 2.52	2,502	◎ →	◎ →	◎ →	◎		
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)						1 1.00			1 0.08	7	→	→	→			
無菌性髄膜炎											→	→	→			
マイコプラズマ肺炎		4 4.00	4 4.00			2 2.00	13 13.00	8 1.60	31 2.58	428	→	→	→	○		
クラミア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→			
RSウイルス感染症	1 0.20		3 0.60	1 0.50				4 0.15	9 0.16	236	→	→	→			
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		1 9	1 1		1 1	5 5				：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ：発生または流行について、今後の情報に留意 し：発生が少なくなっている傾向					
川崎病											【週報の詳細】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/					
不明発疹症																

今週の全数報告疾病

*男児、女児は6歳未満

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核
 - 登米管内 女性1名(第21週)
 - 塩釜管内 男性1名
 - 栗原管内 男性1名
 - 仙台管内 男性2名、女性2名
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌
 - 仙台管内 女性1名
- 4類感染症: 報告なし
- 5類感染症: アメーバ赤痢
 - 仙台管内 男性1名(第21週)
 - 梅毒
 - 仙台管内 男性3名
 - 風しん
 - 仙台管内 男性3名(検査診断例)、女性1名(臨床診断例)

今週のインフルエンザによる入院患者報告 (仙台市を含む基幹定点報告) 0例

今週の感染症のコメント ー宮城県感染症対策委員会情報解析部会ー

- 【水痘】 仙南管内で注意報継続中。
- 【伝染性紅斑】 仙南、気仙沼管内で警報値を超えた。
- 【咽頭結膜熱】 栗原管内で警報値を超えた。
- 【風しん】 全国的な流行が継続しており、県内における2013年第22週までの累積報告数は56例となった。今後さらに流行の拡大が懸念されるので十分に注意が必要である。

【病原体検出情報】

～保健環境センター～
感染性胃腸炎集団発生事例より
気仙沼管内 第21週採取分 アストロウイルス遺伝子 3件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第20週採取分 (5.13～5.19)	第21週採取分 (5.20～5.26)	第22週採取分 (5.27～6.2)
RSウイルス	5件	1件	0件
アデノウイルス	4件	0件	0件
単純ヘルペスウイルス	0件	1件	0件
サトウカボチャウイルス	0件	0件	1件

【アストロウイルス】

アストロウイルスは小児の急性胃腸炎の病原体である。感染経路は、食品媒介感染や水系感染、ヒトからヒトへの感染などがあるが、患者糞便中に莫大な量のウイルス粒子が排泄されるため、糞口感染経路を経たヒト-ヒト感染が主である。今週、アストロウイルスによる感染性胃腸炎集団発生事例があったことから予防対策の徹底が必要である。

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢別割合)

報告週	年齢群											総数 (人)
	0～4歳 (%)	5～9歳 (%)	10～14歳 (%)	15～19歳 (%)	20～29歳 (%)	30～39歳 (%)	40～49歳 (%)	50～59歳 (%)	60～69歳 (%)	70～79歳 (%)	80歳～ (%)	
2013年 第18週	27.7	29.5	20.5	5.4	4.5	7.1	0.9	0.9	0.9	0.0	2.7	112
第19週	18.9	24.4	27.6	3.1	3.9	8.7	4.7	2.4	1.6	3.1	1.6	127
第20週	19.8	38.8	17.2	1.7	6.0	5.2	4.3	0.9	2.6	2.6	0.9	116
第21週	13.1	41.1	22.4	6.5	2.8	4.7	1.9	5.6	0.0	0.9	0.9	107
第22週	23.2	43.9	20.7	1.2	0.0	4.9	3.7	2.4	0.0	0.0	0.0	82

インフルエンザ定点は、内科定点と小児科定点を合わせたもので、県全体で93定点です。宮城県:51定点 仙台市:42定点 合 計:93定点

定点把握の対象となる5類感染症(全国 2013年第20週)

(国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は3週連続で減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。富山県(6.69)、宮崎県(5.58)、福井県(3.97)が多い。**RSウイルス感染症:** 報告数は358例と減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約81%を占めている。**咽頭結膜熱:** 報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。佐賀県(2.00)、宮崎県(1.00)、鹿児島県(0.98)が多い。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:** 報告数は2週連続で増加した。新潟県(4.77)、鳥取県(4.53)、富山県(4.52)が多い。**感染性胃腸炎:** 報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。大分県(17.42)、新潟県(16.89)、山形県(14.60)が多い。**水痘:** 報告数は減少した。宮崎県(3.19)、福岡県(2.44)、愛媛県(2.32)が多い。**手足口病:** 報告数は2週連続で増加した。島根県(4.26)、沖縄県(3.56)、福岡県(2.73)が多い。**伝染性紅斑:** 報告数は減少した。富山県(0.83)、新潟県(0.34)、宮城県(0.26)が多い。**百日咳:** 報告数は2週連続で増加した。新潟県(0.21)、沖縄県(0.18)が多い。**ヘルパンギーナ:** 報告数は2週連続で増加した。佐賀県(0.83)、沖縄県(0.53)、山口県(0.43)が多い。**流行性耳下腺炎:** 報告数は2週連続で増加した。福井県(1.50)、秋田県(1.46)、山形県(0.77)が多い。**マイコプラズマ肺炎:** 報告数は増加した。石川県(1.60)、岡山県(1.60)、宮城県(1.58)が多い。